

- ▶ 三沢市では、財政事情により手入れ不足の公有林が増え、自然災害発生の危険性や景観を損ねている箇所があることから、森林環境譲与税を財源として、主伐、間伐や下刈に係る調査及び施業を実施し、公有林の維持管理を継続していく方針。
- ▶ 令和4年度においては、以下の取組を実施。
 - ・ 暮らしを守る森公園の樹木伐採 1.32ha
- ▶ 令和5年度においては、当公園内の園路沿い等の景観を損ねている範囲について、樹木伐採等を実施予定。

□ 事業内容

公有林の保全、景観整備

- ・ 暮らしを守る森公園の手入れの行き届いていなかった箇所について、倒木の恐れのある範囲の危険木を伐採することにより、国道338号への倒木を未然に防止し、あわせて景観整備を図る。

【事業費】 1,910千円（うち譲与税1,909千円）

【実績】 伐採面積 1.32ha

□ 取組の背景

- ・ 財政事情による、暮らしを守る森公園の手入れ不足が生じ、樹木の高木化や公園内への倒木が発生していたことから、幹線道路である国道338号の倒木による交通遮断が懸念されていた。



（着工前）



（着工後）

□ 工夫・留意した点

- ・ 国道338号に影響すると考えられる範囲のみの伐採とし、伐採過多にならないように留意した。

□ 取組の効果

- ・ 倒木被害の未然防止が図られ、保全管理がなされた。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：6,308千円	②私有林人工林面積（※1）：476ha	
③林野率（※1）：16.2%	④人口（※2）：39,152人	⑤林業就業者数（※2）：5人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 三沢市では、財政事情により手入れ不足の公有林が増え、自然災害発生の危険性や景観を損ねている箇所があることから、森林環境譲与税を財源として、主伐、間伐や下刈に係る調査及び施業を実施し、公有林の維持管理を継続していく方針。
- 令和4年度においては、以下の取組を実施。
 - ・ 三沢市民の森公園（総合公園）の下刈0.11ha及び危険木伐採1.55ha
- 令和5年度においては、令和4年度と同様に、当公園内の景観を損ねている箇所の下刈と倒木の恐れがある樹木の伐採を実施予定。

□ 事業内容

公有林の保全、景観整備

- ・ 三沢市民の森公園（総合公園）の手入れの行き届いていなかった箇所について、下刈や倒木の恐れのある危険木を伐採することにより、保全と景観整備を実施する。

【事業費】 3,911千円（うち譲与税3,911千円）

【実績】 下刈面積 0.11ha
伐採面積 1.55ha

□ 取組の背景

- ・ 財政事情による市民の森公園の手入れ不足が生じたことにより、景観を損ね、また、倒木により隣接施設を破損させる被害が発生していた

□ 工夫・留意した点

- ・ 主たる樹木に支障の無い範囲で下刈を実施した。
- ・ 隣接する施設へ影響すると考えられる範囲のみの伐採とし、保安林の機能喪失が無いように実施した。

□ 取組の効果

- ・ 手入れ不足の箇所について、景観保持が図られた。
- ・ 倒木被害の未然防止が図られ、保全管理がなされた。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：6,308千円	②私有林人工林面積（※1）：476ha	
③林野率（※1）：16.2%	④人口（※2）：39,152人	⑤林業就業者数（※2）：5人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



（倒木状況）



（危険木伐採 着工後）



（下刈 着工後）